

いい声 いい顔 いい心

主幹だより No.17
文責：城

先生方のとりかかりが早い → 前倒しでお伝えします

前号で「一息ついたら、自分のペースで次の準備を!!」と記述しました。

もう通知表にとりかかっている先生もおられ「早っ!!」と思ったところです。昨年度も主幹だよりで通知表に関するこを載せましたが、今年度も参考にしてもらえたたらと思います。(数回に分けて掲載予定です)



通知表の役割として文科省では次のように述べています。

通知表は、各学校において、子ども自身や保護者に学習状況を伝え、その後の学習を支援することに役立たせるために作成されているもの（『確かな学力』について 文部科学省）

計画的に作業を進めていってください。そんな通知表で頭を悩ませる一つが所見ではないでしょうか。その語尾の工夫で様々な伝え方や教育観が子ども・保護者に伝わります。

1 児童の成長の看取り・・・教師が把握した事実を伝える

- ・～（姿が）見られました ～ができました ～が育っています ～に取り組んでいます
- ・～をしていました ～名人です ～してくれました ～行動していました
- ・～として活躍しました ～が上達しました（上手になりました） ～行いました
- ・～（やさしさ・まじめさ・たのもしさなど）があります

2 事実を教師としてどう感じるか・・・教師の主観も入る

- ・～（成長）を感じます （成長・工夫・努力）がよく分かります ～が目立っていました
- ・～に見えます ～が自信・やる気につながっています ～友達の良いお手本です
- ・～がうかがわれました ～がすばらしかったです ～が輝いていました
- ・～をうれしく思います ～がほほえましいです

3 教師としてどう支援している（支援していく）のか・・・教師の教育活動・抱負

- ・～に気を付けて見てきました（見ていきます） ～見守ってきました（いきます）
- ・支援してきました（いきます） ～声をかけてきました（いきます）
- ・応援してきました（いきます） ～評価してきました（いきます）

などなど

所見を読むと、担任が子どもの成長を「どのように把握」し、「どう感じ」、「どう支援」しようとしているのかが分ります。特に上記の2や3が見える通知表にしたいですね。

学校評価（簡易版）

1学期末に保護者にお願いした学校評価は全体的に高い評価をいただきました。先生方の暖かい、熱い、ていねいな指導・支援の結果だと思います。先生方の日々の努力に感謝です。自分の学級はもとより、他学級の評価（特に記述部分）も見て、「これは2学期に自分も心がけよう」「これをうちのクラスでも実践してみよう」と意識するといいと思います。改善点や要望も自分の襟を正すのに役立ちます。

～ティータイム～

「お盆」

先日、「盆踊りを踊ったことがない若者が6割以上」「盆の意味を知らない若者が5割近く」というニュースを見た。「盆踊り 자체がなんかダサい感じ…」と言っている者もいた。「ダサいとかいうレベルの話じゃなかろ！」と画面に向かってツッコむ私。先祖を大事にする心も薄れている気がした。

しかし、自分も墓参りにきちんと行っているかというと…。自戒を込めて「先祖は大事に!!」

